

研究



獨逸植民地に於ける道路の建設

多田基

獨逸のみならず凡べての國に於いて植民地の經濟的並に軍事的支配の前提となるものは交通問題である。可能的なる交通手段中、道路に特に重要意義があることは、一九四〇年十二月二日及三日の兩日シュトゥットガルト市に開催された植民地及熱帶地方技術會議に於いて植民地開拓者の意見として再三再四明らかにされた。近代的原则に據りて開發され支配されてゐる植民地に於いては道路建設者に重大使命が課されてゐる。過去二十年間に互り此の點に關シテ

フリカに於いて多くの模範的な工事が既に完成されたものと考へられない。アフリカの交通開發は不十分で、或る處では一九一四年の状態を出でないところがあつた。この問題の重要性は、早速に適當なる準備が必要となつて來る。之に就いて國務大臣トット博士は、シュトゥットガルト市に於ける前述の會議の研究會である國民社會主義獨逸技術聯盟(NSBDT)の新設されたる勞働團「植民地道路建設部」の會議に於いて力強い主張を行なつた。

獨逸道路事業はナチスの政權掌握以來大飛躍を遂げ、之に依り今日では獨逸が世界一の道路建設國となつたので、獨逸國民の道路建設能力は將來必ず植民地の道路建設分野に於いても相當の結果を擧げることであらう。何故なら植民地の道路建設は、事實道路建設の部門に於いては本國に於けるそれと著しい相異があるとしても全然新しいことではないからである。

次に植民地に於ける道路建設と本國に於ける道路建設との主たる相異を簡單に述べることとする。道路建設に妥當することは、多かれ少かれ植民地に於ける凡ゆる種類の技術活動にも當てはまるのである。

この相異は、第一は、問題となれる地方の廣範なる面積と交通上並に經濟上の未開發と云ふこと、次には人口密度の低いこと並にその地方の勞働者の用役能力が歐羅巴人に比して低下してゐること、最後にはその地方の氣候及これに據つて生ずる諸現象の内にある。

地形より道路建設に生ずる諸種の困難は、獨逸植民地の

存在する地方では歐羅巴と同程度と言つて良い。茲で云ふ地方とは、主として熱帶アフリカを指すのであるが、これ等の地方は殆んどアフリカ特有の盆地と丘陵から成立してゐる。而して一盆地から他の盆地への移行は可成りに緩やかで屢々見受けられる高原地帯の海岸に於ける絶壁、散在せる山脈及池溝地帯が精々交通路の建設に障害を與へる程度である。

獨逸領アフリカは、例へば長さは約一千二百軒、幅は平均して一千軒に及び、獨逸領西南アフリカは長さは約一千三百軒、幅は平均して三千軒に達し、コンゴ河口からダレサラムに至る航空路は約三千軒である。かくの如く距離の大きなこと、交通機關の不足、その地方に於ける資源の不足、これがために必要となる祖國から數千軒に及ぶ大規模な運送、最後に經濟的開發を成功に導くべき交通施設の不備等に依り當然道路の計畫及建設が著しく影響される。獨逸に於ける強度交通に順應すべき幅員並に路面鋪裝等は、若干の直通大道路を除外して、永久に不必要であらう。併し乍

ら、その代りに路線に沿ふて産出せらるゝ自然的建設材料を十分使用し、道路建設の大進歩を齎すべき建設方法の發達を計らねばならない。

植民地道路の建設に當つて第二の重大なる故障は人間から生じて来る。獨逸の前植民地が主として存在せる熱帶アフリカは二千萬平方呎の地域を占めてゐて、この空間に於ける人口は約一億で、その内白人は約四十萬である。従つて一平方呎に平均約五名の人間が住んでゐることになる。所で若干の部分的地域に人口が集中してゐるがために熱帶アフリカの廣大なる地域の人口密度は、上述の甚だ稀薄な平均人口密度より以下である。建設労働者としてネグロの用役能力は、極く僅かな種族を除いて低い。その上、氣候の影響を考慮に入れるならば、歐羅巴人の労働力は熱帶的氣候に著しく悪影響を受ける。この事實より、就中十分なる機械の配置及簡單に修理し得る又種類の尠い堅牢な建設機械及道具が必要となる。

熱帶地方の高溫度と又或る若干地方の日中の溫度の大變

化が瀝青及混凝土鋪裝に及ぼす影響の對策はそれ程困難ではないであらう。それよりは、寧ろ降雨の量及分布の影響の方が甚だしい。建設事業を進めるのに酷い水不足があるかと思へば、他方では大豪雨のために斜面、車線鋪裝及排水施設、及橋梁幅員に大影響が與へられる。氣候の附隨的現象たる熱帶的降雨地帶森林 (Regenwald)、砂漠及草原地帶に於いては、繁茂せる植物及植物の不毛な又は尠い地帶に生じて機械に甚だ不利なる作用を及ぼす飛砂に對し對策を講じる必要がある。

本國に於ける道路建設と植民地の道路建設との相異せる特徴を以上の如く、少し許り研究してみても、植民地道路の建設には甚だしい附加的な困難が伴ひ、それがために道路建設技師に要求せられるもの大であることが分る。植民地の技師は全く自身に頼らなければならぬ。植民地の技師は本國に於ける如くに、他の専門分野 (例へば河川工事、地質學、土壤學及び其の他) の専門家の意見を徵することは出来ないであらう。が故に植民地に於ける活動

には多方面に精通せる技師が必要である。國務大臣トット博士が植民地の活動に興味を抱き又これに適性を有する青年技師の教育を國民社會主義獨逸技術聯盟並に獨逸建設專門團に期待してゐる旨の所見を前述の研究會に於いて披露し特に植民地開發經驗者の大なる賛同を受けた。青年技師教育に於いては、附隨的な技術知識以外に土人語竝に慣習の知識、地理及熱帶衛生其の他の知識をそれぞれの専門家を通じて授ける必要がある。かゝる教育は技師にのみ限るべきではなく、漸次に建設監督者、土工頭及人夫頭にも及ぼし、かくして最高の要求に應ずる經營協同體を形成せしむべきである。

大東亞戰爭の勃發するや、その緒戦に於いて皇國日本は頑迷なる米英に對し驚天動地の戦果を獲得し、敵國の戰爭挑發の悔恨を千載に残せしめるに至つた。今次大戰爭は東條三原則の文字通りの實力的實踐に他ならず戦果ニュースの發表と共に大東亞共榮圈建設の礎石が一つづゝ築かれて行く。既に泰國及佛領印度支那は日滿華に追隨して共營圈

の一環を形成するに至つたのであるが、爾餘の米英其の他の敵性國家植民地は我が陸海軍の貴重なる實力に依つて獲得せられるのであり、今次大戦の長期的見透しを豫期するならば、これ等植民地の建設的開發に即刻着手しなければならぬ。

我が大東亞共榮圈が完全に形成されば、その經濟的資源の豊富なることは歐亞共榮圈、英國を米洲に追ひ込んだ後の米洲共榮圈並にソ聯を樞軸國側に勤くとも立たせて建設せしめる可能性のあるソ聯共榮圈の内第一位を占めることは、自然資源の豊富なることに思ひ上つてゐた米合衆國の今次大戰爭に依り、太平洋に於ける必要原料輸入ルートの遮斷に依つて、米國工業の悩む實情に依つて十分證明し得られるのである。成程合衆國自體には豊富なる資源を有してゐるが、軍需財の生産には如何しても大東亞共榮圈内の資源(例へばゴム、錫、マンガン、タンングステン、生糸等)に頼らざるを得ないのである。かゝる點より考へるならば、日本が大東亞共榮圈の自他共に許す指導國となるた

めに建設及開發に邁進することに依つて、太平洋艦隊を一日に失つた米國を經濟的にも十分壓迫し得る地位にあることは明らかである。

植民地及其の他從屬國の建設的開發は、地政學的に觀ても日本にとり有利であるが、こゝに問題となるのは日本を中心としての交通問題を解決することである。何故なら日本が媒體となつて東亞共榮圈内の物資の交流を圖らなければならぬからである。

歐亞共榮圈の指導國獨逸は占領地帯及その他の從屬國との物資の交流を圓滑ならしめるために戰鬪行爲と並んで道路建設隊が活動してゐるのは、ローマ道路の軍事的並に經濟的意義を科學的に利用せるものと觀ることが出來よう。而も物資の交流の精算は、獨逸本土を中心としてライヒス・マルク精算所で行はれてゐると言はれる大東亞共榮圈に於いても圓貨がその枠内に於ける中心貨幣となることは言ふ迄もなき。

大東亞共榮圈は歐亞共榮圈其の他の共榮圈とは地勢的性

格を異にして海運交通が重要視せられ、これには港灣、航路、船舶及航路施設が第一義的になつて來るか、共榮圈地方に於いて產出せられる物資を港灣に迄搬出するためには先づ道路の建設が海運と並んで必要である。而も陸上運輸に不可欠なる石油が無盡藏に產出せられるのであるから、優秀道路の建設が前提的條件となる。敵性國は既に彼等の資源開發に交通施設を完備してゐるが故に港灣道路の徹底的新建設は避けることが出来るかも知れないが、既設の交通施設は米英其の他の敵性國を中心として彼等に有利なる方向に於いて建設せられてゐるのである。従つて之等の施設は改修又は廢棄し、大東亞共榮圈の性格に適應するやう改められ又は新規建設が行はれなければならない。

而して我が共榮圈に於ける土木建設の指導者は、獨逸のそれの如くに青年技師に特殊教育を施し、専門技師外に植民地の氣候、地勢、土語及土人の慣習、現地に產出せられる建設材料衛生等の知識を十分兼備したものを配置しなければならぬ。